

平成27年度（第1回） 小金井市地域公共交通会議

日 時 平成27年10月28日（水）午前10時～
場 所 小金井市役所第二庁舎8階 801会議室

会議次第

議 題

- (1) 会長及び副会長の選出について
- (2) 小金井市コミュニティバスの経過について
- (3) CoCoバス路線別の状況について（報告）
- (4) CoCoバス・ミニ野川七軒家循環の乗り残しについて
 - ① これまでの状況報告
 - ② 対応案について

[資料]

- (1) 小金井市コミュニティバスの経過
- (2) CoCoバス年度及び路線別状況一覧
- (3) CoCoバス・ミニ野川・七軒家循環乗り残し状況一覧
- (4) CoCoバス・ミニ野川・七軒家循環聞き取り調査資料
- (5) CoCoバス・ミニ野川・七軒家循環乗り残し対応策（案）について
- (6) 小金井市地域公共交通会議設置要綱
- (7) 小金井市地域公共交通会議委員名簿

平成12年度	市内公共交通機関検討調査	「基礎調査」
	①交通現況	鉄道交通:市域の殆んどが鉄道利用不便地域。JR中央線の踏切が「開かずの踏切」で、南北の市街地を分断している。 バス交通:路線全体が市域西側に偏っている。
	交通の問題点・課題の整理	交通環境は、中央本線の連続立体交差をはじめとする根幹的な都市基盤整備水準から、生活道路の整備水準まで幅広い課題を抱えている。 市民の生活における交通サービス水準を早急に向上させるため、公共交通サービスの向上が急務であり、路線バス事業の拡充の要望と共に、新たな公共交通サービスの導入が課題となっている。
	②公共交通施策の検討	・公共交通不便地域の解消 ・各公共交通機関相互の乗り継ぎ利便性の向上 ・多様な市民ニーズに対応したきめ細かな公共交通サービスの提供 ・高齢者等にも利用しやすい公共交通サービスの提供
③公共交通施策の導入を必要とする地域の選定	4地区(東町、緑町、貫井南、前原町)の公共交通不便地域の各種指標、利用者意向調査による評価検討の結果、「緑町」及び「貫井南・前原町地区(地形的な連続性から1つの地域とする)」を、コミュニティバス等の導入について優先度が高い地域として抽出し、運行ルート案の検討を行うものとする。	
平成13年度	小金井市コミュニティバス等導入検討委員会 (H13.06.28~H14.03.31)	
	コミュニティバス等導入検討調査	「基礎調査」で検討したコミュニティバス等の導入に関し、事業化の評価の高い施策及び導入対象地域を選定し、その施策について平成14年度の事業化をめざした実施計画を検討・作成することを目的として実施
	①利用意向調査	アンケート調査約2,000通、グループインタビューを実施した。
	②導入すべき施策及び対象地域の選定	「緑町」、「貫井南・前原町地区」を導入候補、「東町」を今後検討する地域として位置づけた。 緑町を第1の運行ルートとして選定
③実施計画の検討・作成	1周約6.4Km(所要約40分)の反時計回り循環ルート、2台のバスで20分間隔で運行。 料金は100円、バス停は概ね200m間隔で設置。 運行は、バス事業者に依頼する。	
平成14年度	コミュニティバス等事業化調査	
	①実施準備作業	運行事業者の選定、運行ルートの詳細検討、導入車両の検討、周知活動の実施
	②試行	実験運行期間 H15年3月1日~31日
	③本格導入	平成15年3月北東部循環が事業化

平成16年度	平成16年12月16日	北東部循環 運行時間の延長
	平成17年3月20日	貫井前原循環、東町循環 運行開始
平成17年度	平成17年4月26日	中町循環 運行開始
	平成18年3月16日	北東部循環 平日朝の増便(7時~8時30分を15分間隔)
平成18年度	<p>平成13年度の小金井市コミュニティバス等導入検討委員会で抽出しながら乗り残しとなっている「前原町地区」に、ミニバス導入を視野に入れての検討が開始された。</p> <p>運行事業者を選定する段階で、バス事業者が採算性の問題から辞退を表明した結果、タクシー事業者の中から選定することとなった。</p>	
平成19年度	運行事業者の選定、導入車両の検討、ルートの検討	
平成20年度	道路運送法第21条の許可(H20年8月1日~H21年7月31日)	
	平成20年9月7日 ココバス・ミニ(野川・七軒家循環)運行開始	
	平成21年3月19日 武蔵小金井駅南口交通広場が暫定オープン 市域南側を運行する貫井前原循環、中町循環及び野川・七軒家循環の3路線が、武蔵小金井駅南口に乗り入れるルートに変更された。	
平成21年度	ココバス・ミニ(野川・七軒家循環)のH21年3月19日のルート変更に伴い、新たな社会実験(試験運行)の開始	
	道路運送法第21条の許可(H21年8月1日~H22年7月31日)	
	平成21年10月1日	小金井市地域公共交通会議設置
	平成22年2月19日	平成21年度第2回地域公共交通会議において、ココバス・ミニの本格運行に関する「同意書」の提出について、全会一致で決議された。
平成22年度	平成22年4月30日	平成22年度第1回小金井市地域公共交通会議においてココバス・ミニ(野川・七軒家循環)の本格運行に向けた「地元の合意」を得る
	平成22年5月13日	国土交通省関東運輸局長宛て「同意書」を提出
	平成22年7月16日	ココバス・ミニ(野川・七軒家循環)運行事業者が、一般乗合旅客自動車運送事業(路線定期運行)の許可を取得
	小金井市コミュニティバス利用者意向調査を実施	
平成23年度	平成23年4月1日	地域公共交通会議改選
	平成23年10月16日~平成24年3月31日	東町循環 運行時間拡大の試行
平成25年度	平成25年4月1日	地域公共交通会議改選
	平成25年10月17日	CoCoバス3両を入れ替え
平成26年度	平成26年9月20日	CoCoバス北東部循環0番武蔵小金井駅北口停留所移設
平成27年度	平成27年4月1日	地域公共交通会議改選
	平成27年9月	CoCoバス4両を入れ替え

CoCoバス年度別収支表

(単位：円)

ル ー ト 名	年度	決算額 (A) - [(B) + (C)]			
		運行収入額	運行経費	停留所設置等	決算額
		(A)	(B)	(C)	
北東部循環	H 2 2	53,564,944	40,600,451	22,365	12,942,128
	H 2 3	52,660,991	42,001,744	393,120	10,266,127
	H 2 4	51,116,756	43,006,964	0	8,109,792
	H 2 5	52,142,022	42,234,252	0	9,907,770
	H 2 6	48,108,297	46,003,346	0	2,104,951
貫井前原循環	H 2 2	21,856,407	28,807,148	0	-6,950,741
	H 2 3	23,880,403	29,906,473	50,715	-6,076,785
	H 2 4	24,721,906	29,370,418	0	-4,648,512
	H 2 5	24,732,034	29,822,835	0	-5,090,801
	H 2 6	23,219,220	31,411,000		-8,191,780
東町循環	H 2 2	7,315,240	15,016,367	0	-7,701,127
	H 2 3	8,342,613	15,721,118	0	-7,378,505
	H 2 4	7,919,938	15,514,453	0	-7,594,515
	H 2 5	8,069,852	15,713,506	0	-7,643,654
	H 2 6	8,725,053	16,665,843		-7,940,790
中町循環	H 2 2	11,572,852	16,602,550	0	-5,029,698
	H 2 3	12,491,330	17,468,673	50,715	-5,028,058
	H 2 4	12,498,413	17,056,501	0	-4,558,088
	H 2 5	12,646,002	17,285,130	0	-4,639,128
	H 2 6	12,309,393	18,298,273	0	-5,988,880
野川・七軒家循環	H 2 2	7,846,068	20,691,187	712,530	-13,557,649
	H 2 3	8,726,599	20,823,539	88,515	-12,185,455
	H 2 4	8,792,999	20,799,676	164,976	-12,171,653
	H 2 5	8,876,031	17,440,950	0	-8,564,919
	H 2 6	8,428,992	16,710,438	0	-8,281,446
C o C o バ ス 計	H 2 2	102,155,511	121,717,703	734,895	-20,297,087
	H 2 3	106,101,936	125,921,547	583,065	-20,402,676
	H 2 4	105,050,012	125,748,012	164,976	-20,862,976
	H 2 5	106,465,941	122,496,673	0	-16,030,732
	H 2 6	100,790,955	129,088,900	0	-28,297,945

CoCoバス年度及び路線別状況一覧

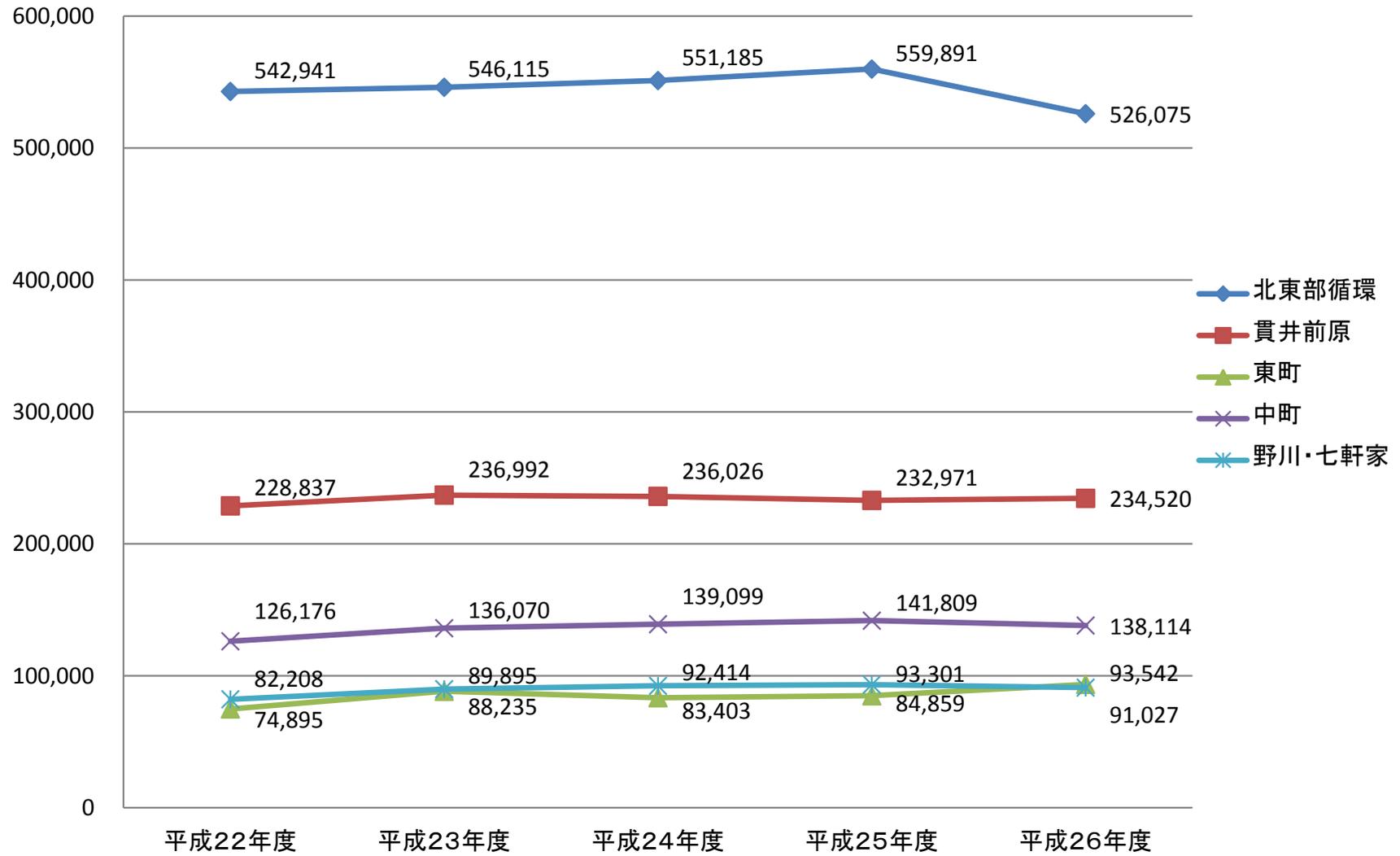
コミュニティバス年度運行数

平成27年6月5日作成

循環名	運行開始		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
北東部	平成15年3月1日	年間	542,941	546,115	551,185	559,891	526,075	
		1日平均	1,488	1,492	1,510	1,534	1,441	
		運行本数	42(土日祝は40便)					
貫井前原	平成17年3月20日	年間	228,837	236,992	236,026	232,971	234,520	
		1日平均	627	648	647	638	643	
		運行本数	31					
東町	平成17年3月20日	年間	74,895	88,235	83,403	84,859	93,542	H23.4.1からH23.10.15まで21便(9時～19時) H23.10.16からH24.3.31まで27便(7時～20時)
		1日平均	205	241	229	232	256	
		運行本数	21					
中町	平成17年4月26日	年間	126,176	136,070	139,099	141,809	138,114	
		1日平均	346	372	381	389	378	
		運行本数	21					
野川・七軒家	平成20日9月7日	年間	82,208	89,895	92,414	93,301	91,027	
		1日平均	225	246	253	256	249	
		運行本数	23					

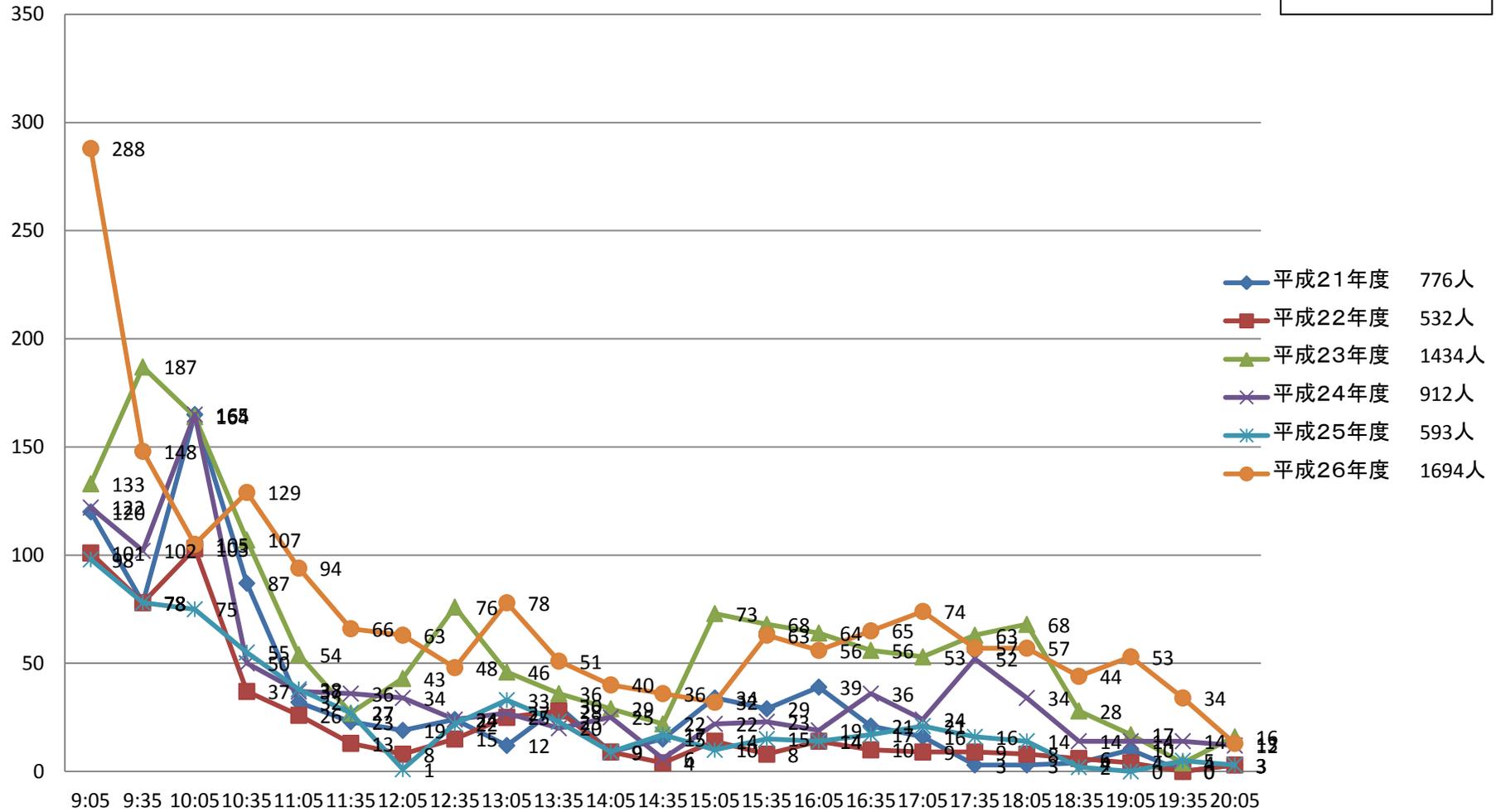
CoCoバス年度及び路線別状況一覧

コミュニティバス年度別利用者数



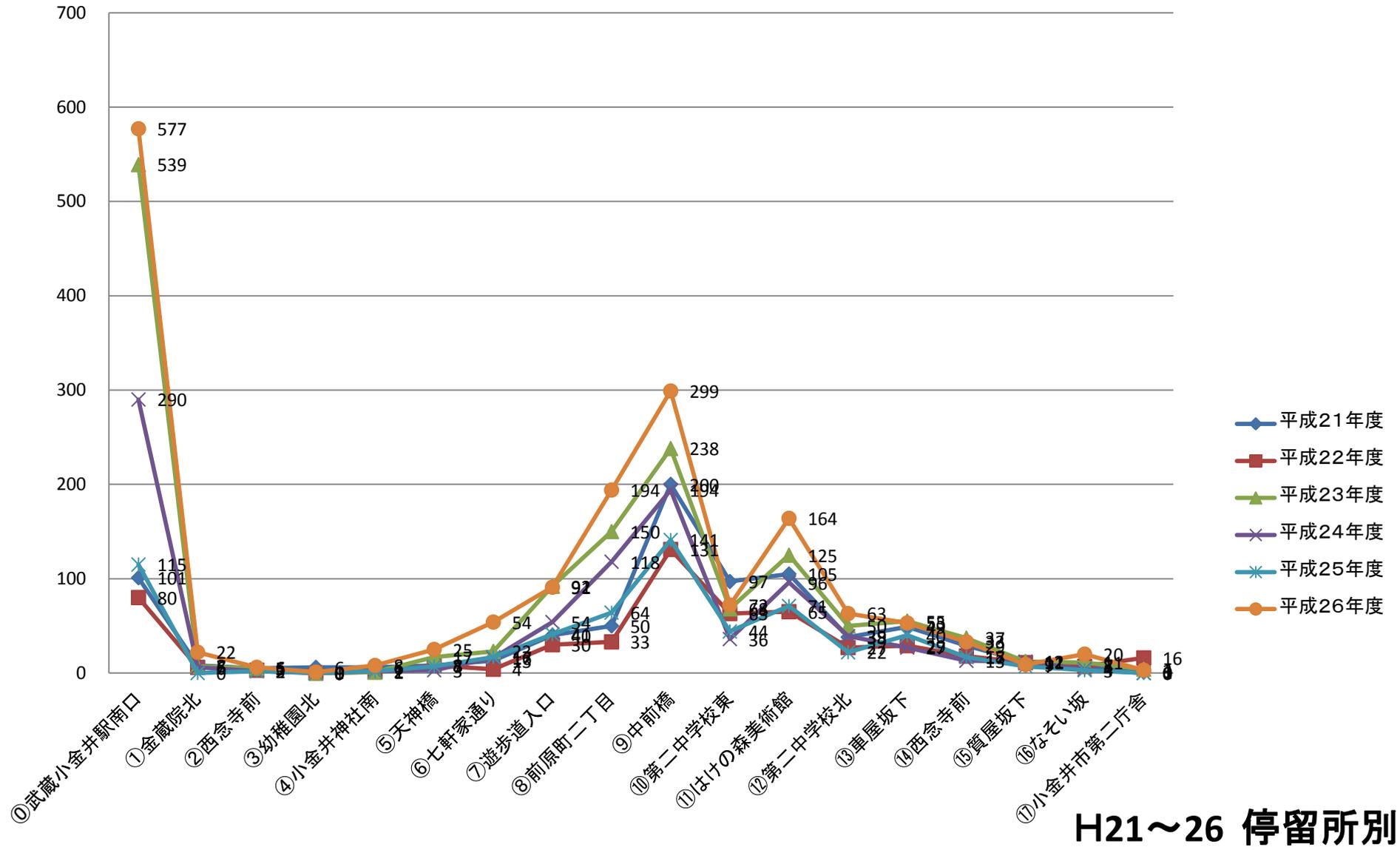
CoCoバス・ミニ野川・七軒家循環乗り残し状況一覧

資料3



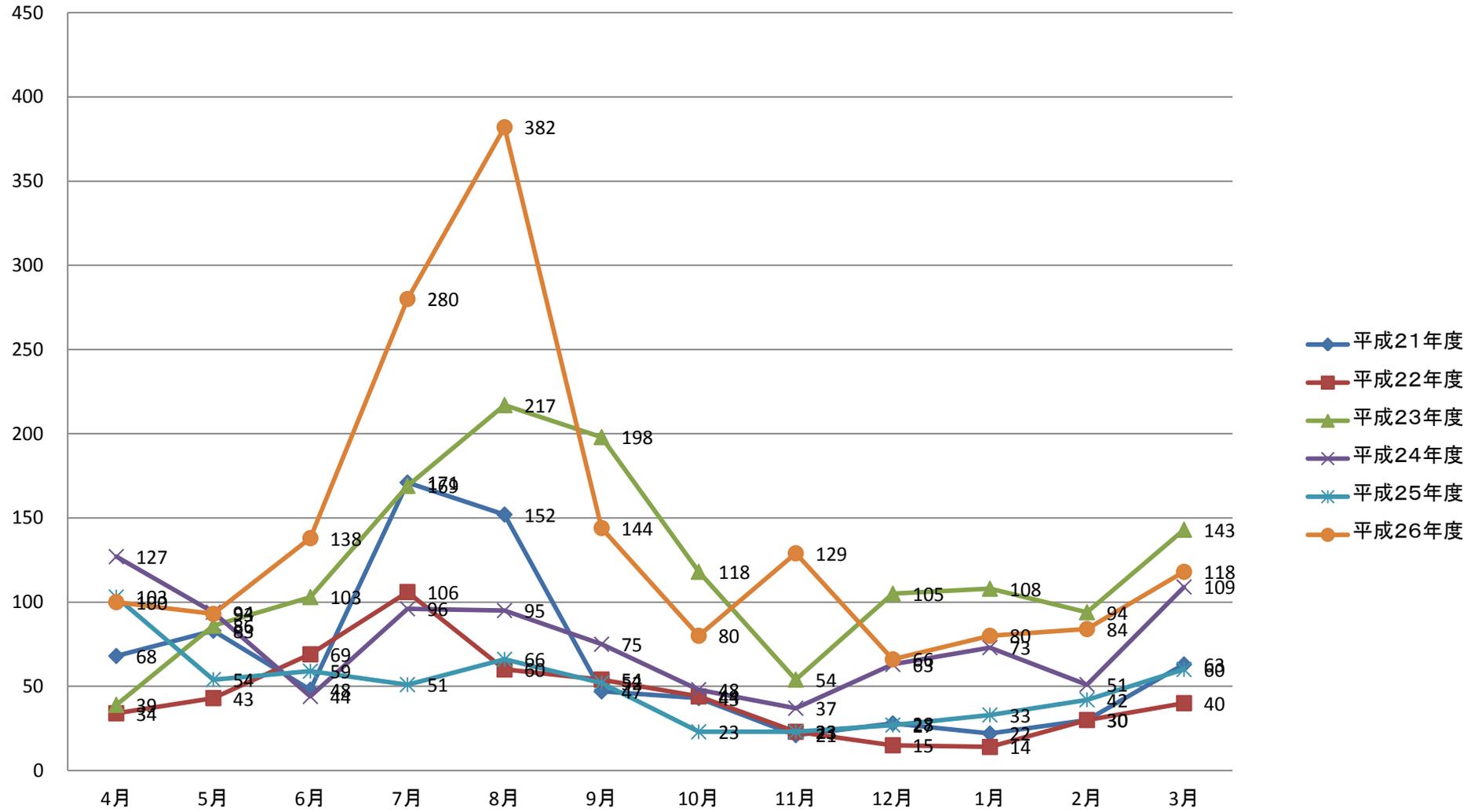
H21~26時刻別

CoCoバス・ミニ野川・七軒家循環乗り残し状況一覧



H21~26 停留所別

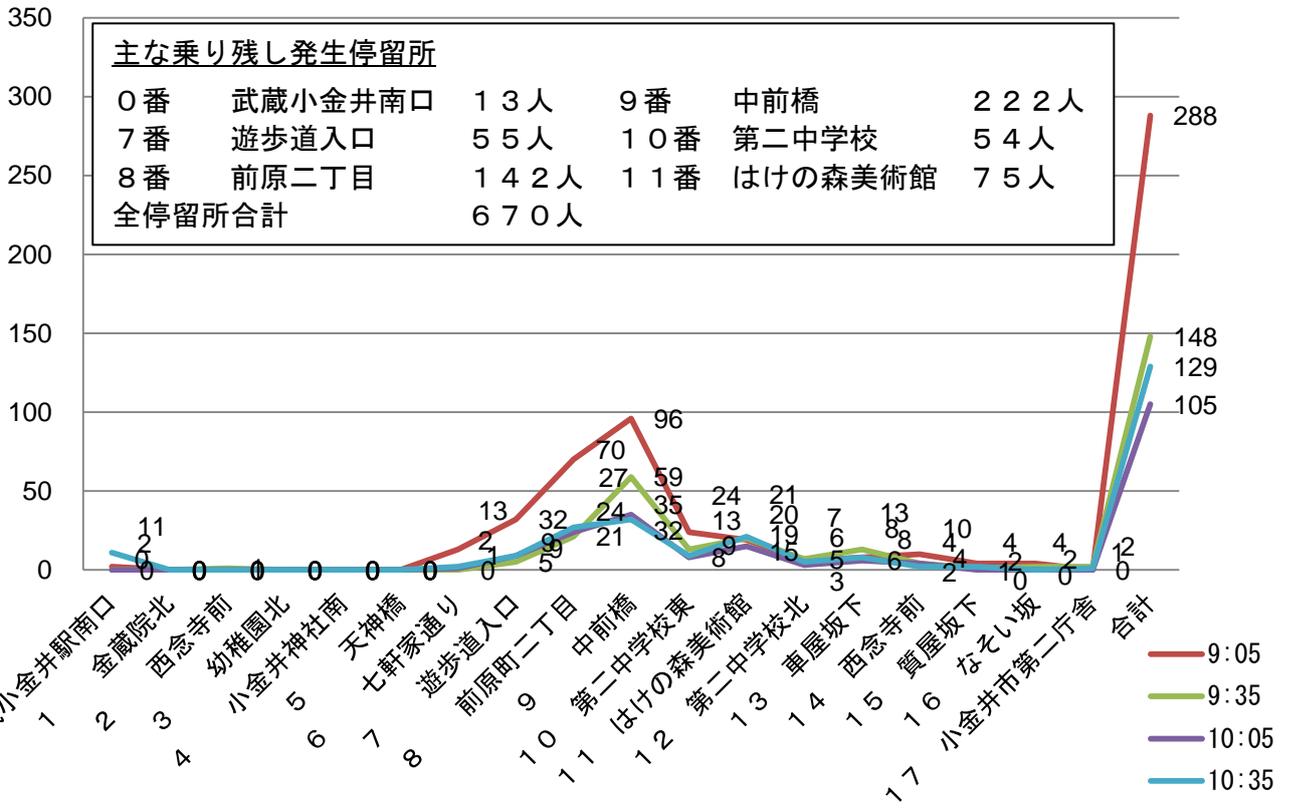
CoCoバス・ミニ野川・七軒家循環乗り残し状況一覧



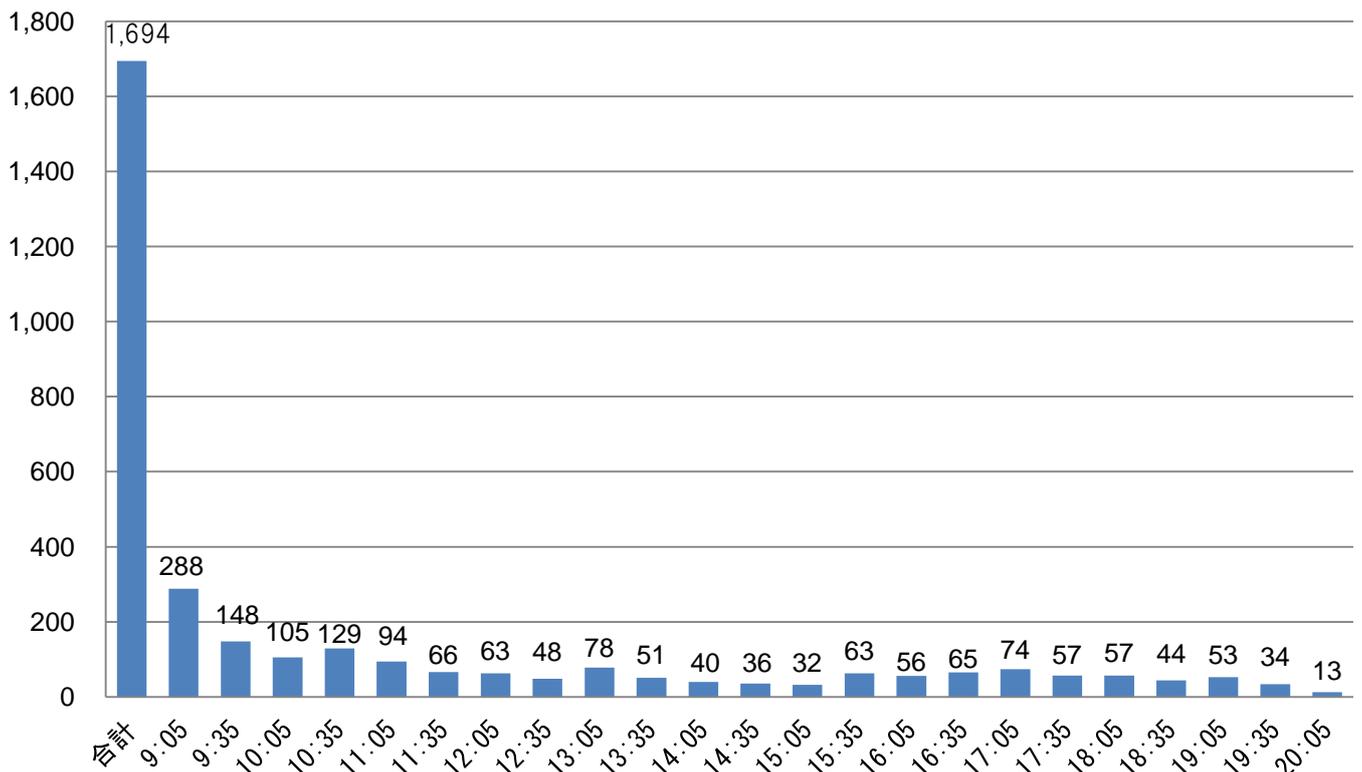
H21~26月別

CoCoバス・ミニ野川・七軒家循環乗り残し状況一覽

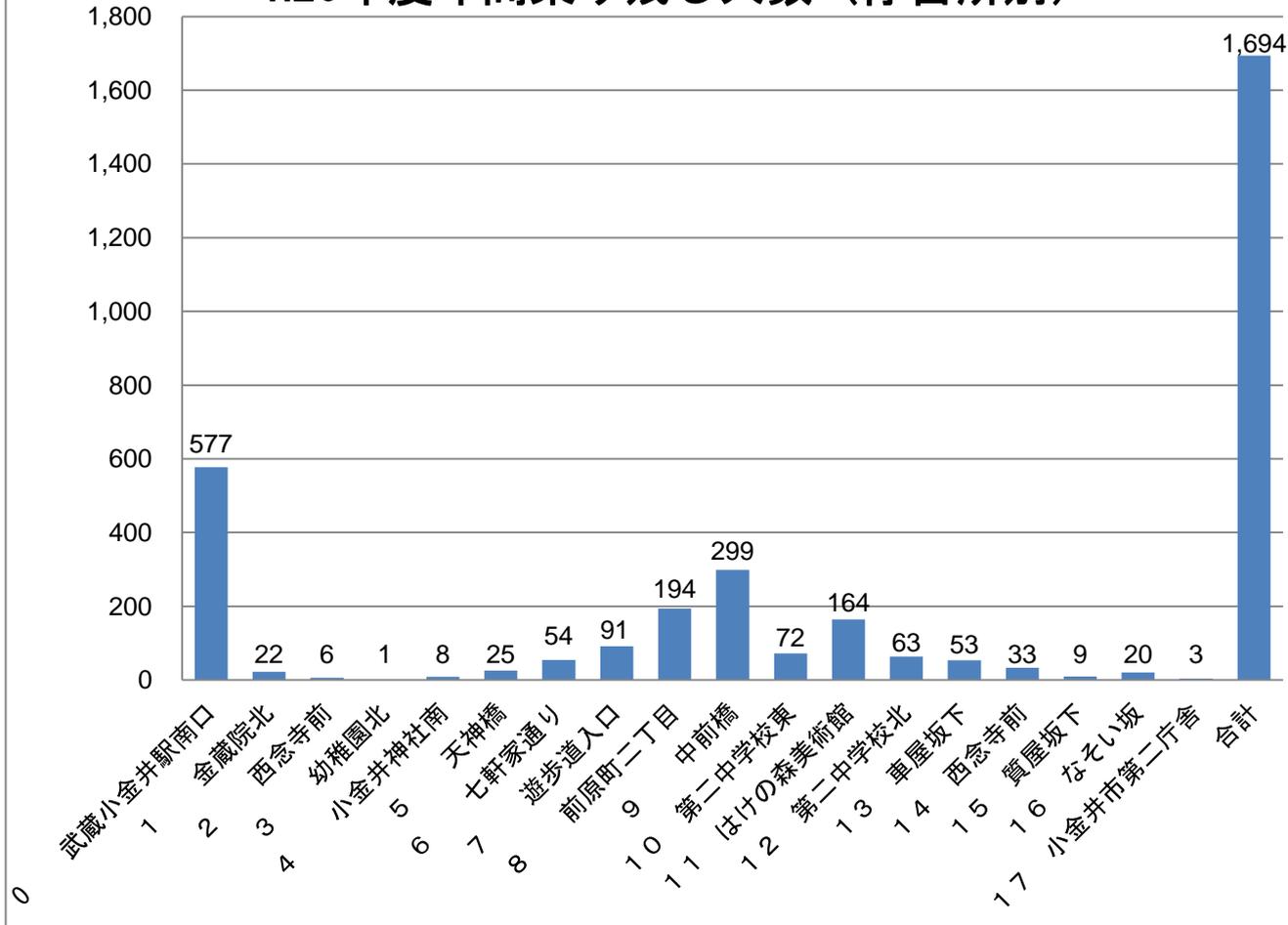
9-10時台乗り残し人数（H26年度）



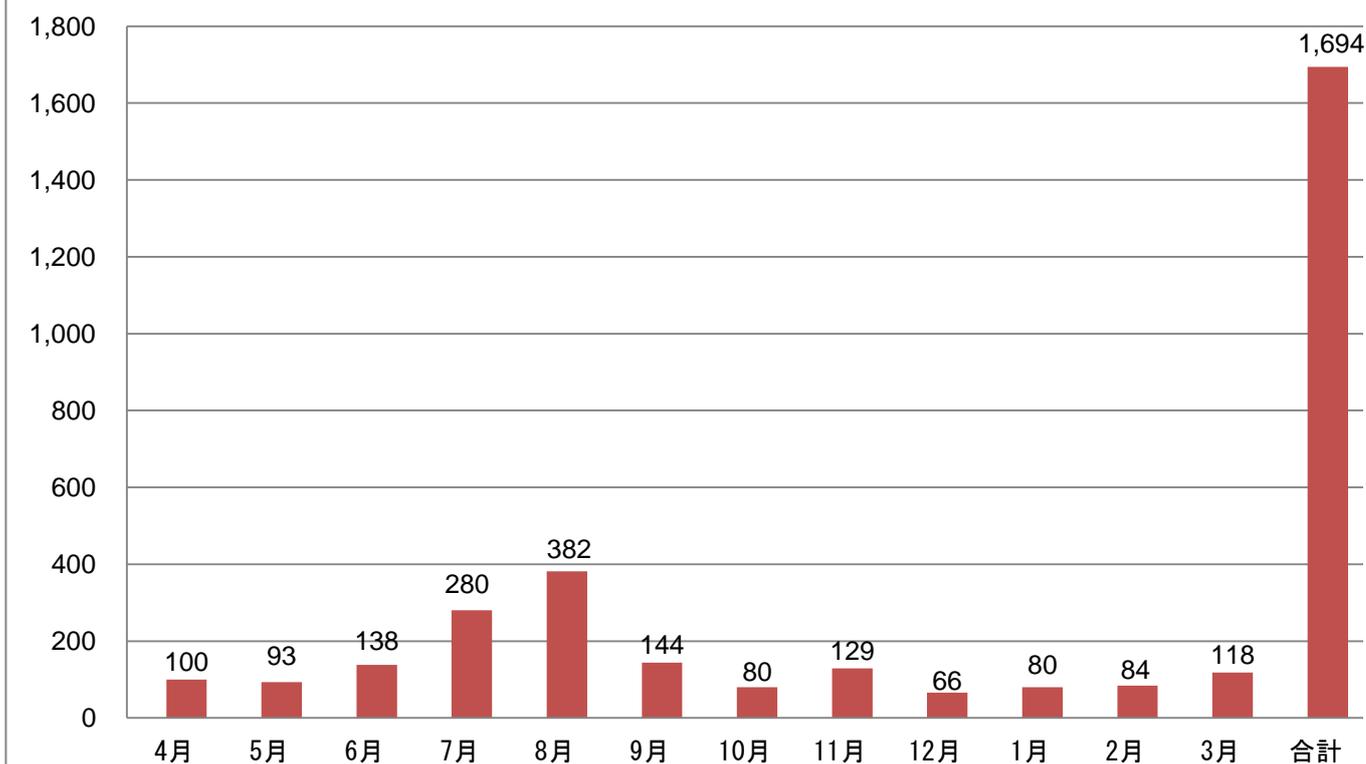
H26年度年間乗り残し人数（時刻別）



H26年度年間乗り残し人数（停留所別）



H26年度年間乗り残し人数（月別）



【 番 停留所】 _____ : _____ 発

1. 性別【 男 ・ 女 】 2. 年代【 _____ 歳】

3. 降車バス停【 駅 ・ 番 _____ 】

4. 利用目的及び目的地【 自宅 ・ 病院 ・ 買い物(_____)・教育施設(_____)・市内(_____)・市外(_____)】

5. 利用頻度【 毎日 / 1週間に _____ 回 / _____ 日に1回 / 1ヶ月に _____ 回 / その他(_____) / 初めて 】

6. 行き帰りの時間帯・手段【 _____ 時頃 ココバスミニ ・ 徒歩 ・ タクシー ・ その他(_____)】

7. 乗車する何分前から並んでいるか【約 _____ 分前】

8. コバミニに乗れなかった場合どうしているか【 次の便まで待つ ・ 徒歩 ・ タクシー(1人)・タクシー(複数)・その他(_____)】

9. 一便早便を出したら乗るか【 乗る ・ わからない ・ 今のままでよい ・ その他(_____)】

メモ

〇ココバスミニアンケート結果(8/5,8/19)

聞き取り人数28名

年代別	0～40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	合計
男性	2	0	0	5	4	11
女性	3	2	4	5	3	17

利用頻度	毎日	週間に1回	週間に2～6回	1ヶ月に数回	初めて	その他(聞けなかった)
	5	4	16	1		2

利用目的 (複数回答)	自宅	病院	買い物	教育施設	市内	市外
	0	12	8	1	1	9

降車バス停 0.武蔵小金井駅南口 28名

行き、帰り時間	～12時	～16時	～19時	～20時	21時～	不明・その他
午前便	3	7	4			7
午後便			2	2	2	1

乗り残された時 (複数回答)	次の便	徒歩	タクシー	一旦帰宅	その他(聞けなかった)
	8	11	3	0	8

C o C oバス・ミニ野川七軒家循環乗り残し対応策について（案）

C o C oバス・ミニ野川・七軒家循環については、坂下である主に前原町地区より要望が強く出た中で、平成20年度に運行開始した。

本循環は、主に高齢者に多く利用されており、買物や病院等へ向かう生活の足としてコミュニティバスとしての本来の趣旨である交通不便地域の解消及び高齢者の移動機会の確保等に寄与しているところである。

しかし、運行開始後より乗りたいのに車内が満員となっており、乗れない等のご意見が多く、特に朝の9時台から10時台にかけ、⑧前原町二丁目から⑩はけの森美術館内にて顕著に表れている。

その間、市においても対策の検討を重ねてきたところであるが、具体的な解決には至らなかった。また、本循環については運行経費が運行収入額を大幅に上回っており、毎年恒常的な赤字に陥っていることから、これ以上の新たな車両購入等の大幅な費用負担は不可能であるとの見解を市議会に示しているところである。

このような状況の中、現有資産を活用し、最小限の費用負担で利用者ニーズに答えるべく、運行事業者と協議を重ねた結果、現在の始発時刻である武蔵小金井駅南口9時5分発の前に8時35分発を導入することとし、1便増便することにより、本問題を改善することによる輸送サービスの向上を図ることとする。

1 導入開始時期

平成28年4月1日（予定）より土・日・祝日含む全日

2 導入開始による効果

- ・増便することにより、特定の時間帯による利用者の分散が図られ、乗り残し問題が解消とまではいかないが改善することが期待できる。
- ・既存の時刻を変更しないため、大きな混乱は発生しない。
- ・新たな負担額は、主に人件費や燃料費等があり、年間ベースで約50万円の費用負担となり、最小限に抑えることが可能。
- ・一部区間に7時30分から8時30分の間、スクールゾーン規制があるが、運行による支障は特段ない。

3 問題点

- ・主に病院等の診察開始時間は、朝9時のところが多く、利用者が特定の便に集中する可能性がある。
- ・現行より30分早まることにより、これまで別の交通手段を利用していた方あるいは通勤目的等の新たな客層が生まれる可能性がある。

4 その他

本議題による小金井市地域公共交通会議での決議事項を踏まえ、今後の細部に渡る調整については、運行事業者と協議していくこととし、同調整内容については、次回の小金井市地域公共交通会議内にて報告することとする。